

2026年3月2日（第1.3版）

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名]

中等症急性胆嚢炎の初期治療選択と予後についての多機関共同後方視的研究

[研究代表機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

[研究代表者名・所属]

栗谷 将城・北海道大学病院 消化器内科 講師

[共同研究機関名・研究責任者名・機関の長の氏名]

北海道医療センター	責任者	多谷 容子・伊東 学
手稲溪仁会病院	責任者	金 俊文・古田 康
札幌医科大学附属病院	責任者	榎木 喜晴・渡辺 敦
帯広厚生病院	責任者	松本 隆祐・佐澤 陽
製鉄記念室蘭病院	責任者	小野 道洋・前田 征洋
王子総合病院	責任者	渡辺 大地・岩井 和浩
北見赤十字病院	責任者	上林 実・荒川 穰二
NTT東日本札幌病院	責任者	小野寺 学・吉岡 成人
釧路労災病院	責任者	米村 洋輝・篠原 信雄
JCHO札幌北辰病院	責任者	高木 智史・小池 雅彦
苫小牧市立病院	責任者	野澤 俊一郎・堀田 哲也

[研究の目的]

中等症急性胆嚢炎治療において初期治療として保存的治療（絶食、抗生剤、補液）加療を選択可能であった症例の特徴を明らかにする。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2021年10月1日から2023年9月30日までの間に本研究に参加する機関にて急性胆嚢炎と診断された患者さんで、急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン 2018 に示す症状が中等症となる方。

○利用するカルテ情報

2024年3月31日までのカルテ情報を利用します。

情報：診断名、年齢、性別、病歴、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査など）、急性胆嚢炎発症日、急性胆嚢炎診断日、急性胆嚢炎治癒日、胆嚢ドレナージ施行の有無、胆嚢ドレナージ方法/施行日、胆嚢摘出術の有無、手術日、処置の際の合併症の

詳細、急性胆嚢炎の再燃有無

○送付方法

上記のカルテ情報は、研究事務局のある北海道大学病院消化器内科に提出された後、情報データの解析のために北海道医療センターに、電子的配信で送付します。

[研究実施期間]

実施許可日(情報の利用開始：2024年6月頃)～2030年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院（研究代表機関）の連絡先・相談窓口]

北海道大学病院 消化器内科

担当医師：杉浦 諒

住所：北海道札幌市北区北14条西5丁目

電話：011-716-1161(内線5918) FAX：011-706-7867

[当院（共同研究機関）の連絡先・相談窓口]

住所：

医療機関名： 担当医師：

電話： FAX：